

特集2 北九州市立文学館

開館20周年

記憶を刻み、
未来につなぐ
文学の世界



北九州ゆかりの文学者の功績を伝える施設として、資料の収集、保存、研究、次世代への継承を目的に2006年に開館し、今年の11月1日で開館20年を迎えます。

世界的建築家の磯崎新氏の設計で、1974年に歴史博物館として建てられた建物は、落ち着きと開放感が調和した心地よい空間です。

常設展示は、「北九州の文学」「北九州の文学のあゆみ」「21世紀の作家たち」で構成されています。

【ゆかりの作家】

森鷗外、杉田久女、橋本多佳子、林芙美子、火野葦平、宗左近、高橋睦郎、村田喜代子、平野啓一郎、リリー・フランキー ほか



◀北九州市立中央図書館・子ども図書館に隣接しています

施設情報

小倉北区内4-1 ☎571・1505

開 9時30分～18時(入館は17時30分まで)

休 月曜日(祝・休日のときは開館し翌日が休館)、年末年始

文学館ってどんなところ？

13万点以上の収蔵資料から約300点を展示中！



直筆に、出会う。

北九州ゆかりの文学者を紹介しています。林芙美子が川端康成に宛てた直筆の手紙もご覧になれます。



子どもも、楽しめる。

リリー・フランキーさんから寄贈された子ども向けの絵本や小説など169冊をそろえたコーナーもあります。



建築が、作品。

磯崎氏によるステンドグラス。光の色が時間とともに移ろい、静けさと開放感が同居します。

文学館開館20周年記念トーク

現在活躍する北九州市生まれのお二人の作家によるトークが実現！

藤野千夜さん×山崎ナオコーラさん

日時 11月1日(日) 13時30分～15時

場所 文学館 交流ひろば

定先着80人

申 10月7日からネットです。

申はコチラから▶



館長メッセージ

市民の皆さまに支えられ、北九州市立文学館は開館20周年を迎えます。

古くから陸・海上交通の要衝であり、豊かな文学的土壌を持つ北九州市。この街の文学館として、ゆかりの文学者や地域の文芸活動の資料を収集・保管し、調査・研究を行い、展覧会や講演会などを開催。さらに、新たな文学の才能を発掘する文学賞を実施し、全国にも発信してまいりました。

これからも、貴重な財産を次世代につなぐ役割を果たしながら、市民の皆さまとともに歩む文学館として、時代とともに進化しつつ、地域文化芸術の活性化に努めてまいります。ぜひ、文学館にお越しください。

北九州市立文学館 館長 今川英子

秋の特別企画展

近年、『まっくら一女坑夫からの聞き書き』、『からゆきさん』など著書の復刊が相次ぐ、福岡県ゆかりの詩人・作家 森崎和江(1927～2022)。展覧会では、寄贈された資料を初公開し、その生涯と思想の軌跡をたどります。

森崎和江展—響きあういのち、響きあうことば

日時 10月24日(土)～12月13日(日)

料一般500円、
中学・高校生200円、
小学生100円

場所 文学館 企画展示室

関連イベント

①開会記念講話「森崎和江と「出会う」ということ」

福岡国際大学名誉教授・井上洋子さんによる講話。

日時 10月24日(土)
11～12時

場所 文学館 交流ひろば

定先着60人

②ドキュメント「森崎和江 終わりのない旅」(NHK ETV特集 2023年12月16日放送)の上映とトーク

NHK福岡放送局ディレクター・吉崎健さんによる講話。

日時 11月8日(日)
13時30分～
15時10分

場所 子ども図書館
(小倉北区内)

定先着80人

③上野千鶴子さん特別講演会「森崎和江への/からの旅」

社会学者・上野千鶴子さんによる講演会。

日時 11月22日(日)
13時30分～15時

場所 ムーブ(小倉北区
大手町)

定450人

申はコチラから▶



共通申 いずれも10月3日9時30分から☎571・1505へ。③はネットも可。

特集2に関するお問い合わせ 文学館 ☎571・1505

★ネット申し込み(ネット)はコチラから▶



★市のホームページはコチラから▶



★基本事項の記入方法は11ページを参照 ★時間は24時間表記